

防災情報資料①

栗山町日出地区3 土砂災害ハザードマップ

作成年月：平成 28 年 2 月

発行元：栗山町役場総務課

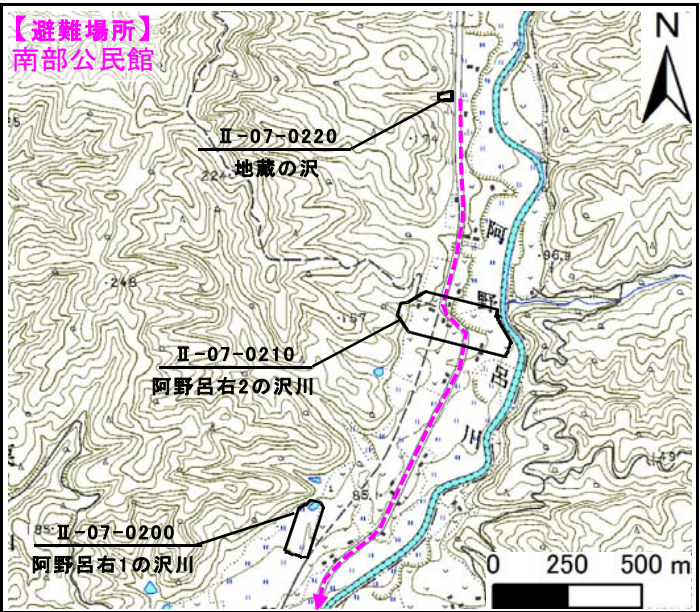
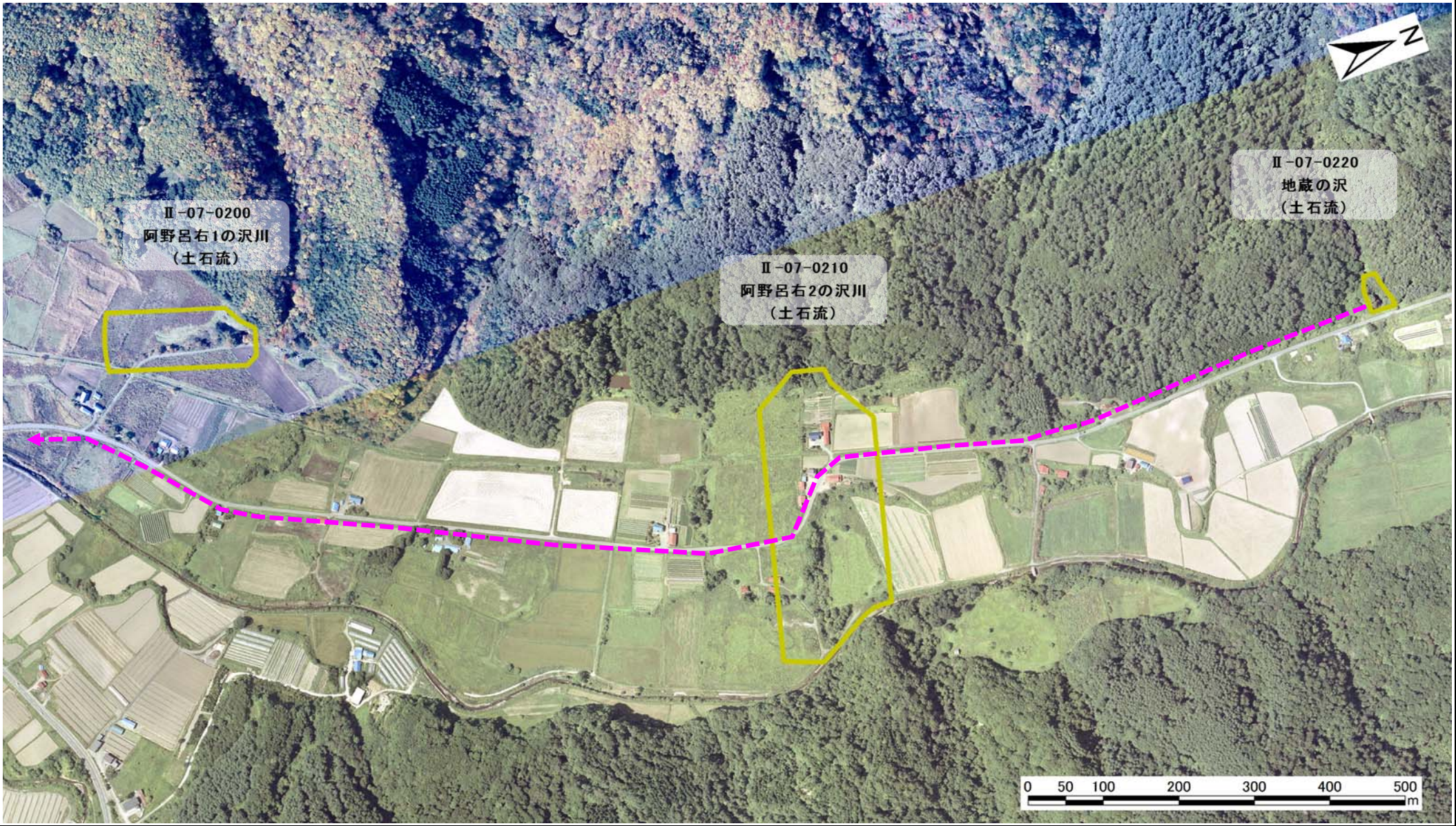
連絡先：(0123)72-1111

避難場所：南部公民館

避難所：南部公民館

住所：夕張郡栗山町字継立176番地8

※ 本マップは、各項目の表示例を示したものです。  
本マップで表示された地区の指定状況等を忠実に反映したものであるとは限りません。



位置図

| 項 目             |          | 記号 |
|-----------------|----------|----|
| 土砂災害警戒区域        | 急傾斜地の崩壊  |    |
|                 | 土 石 流    |    |
| 土砂災害特別警戒区域      | 急傾斜地の崩壊  |    |
|                 | 土 石 流    |    |
| 避 難 場 所         |          |    |
| 主 要 な 避 難 経 路   |          |    |
| 要 配 慮 者 利 用 施 設 |          |    |
| 土砂災害危険箇所        | 急傾斜地危険箇所 |    |
|                 | 土石流危険渓流  |    |
|                 | 地すべり危険箇所 |    |

※ 土砂災害危険箇所とは、平成14年度に北海道が公表した土砂災害の発生のおそれのある箇所のことです。  
(地すべりは平成10年度公表)

- ◎黄色で囲まれた範囲(土砂災害警戒区域等)は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域」です。
- ◎赤色で囲まれた範囲(土砂災害特別警戒区域等)は、「土砂災害が発生した場合、建築物に破損が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。
- ・露岩部(岩盤が露出している箇所)の直下は落石等による災害が発生するおそれがありますので、区域の有無に関わらず注意して下さい。

・土砂災害警戒区域等にお住まいのかたは、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意して下さい。

・また、土砂災害警戒区域等以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難場所などをよく確認しましょう。



大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

## 日頃からの確認

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となる可能性がありますので、  
注意してください。

○雨が強くなってきたら、電話やインターネットでも確認しましょう

| 1時間雨量   | 人が受けるイメージ               | 発生状況                                              |
|---------|-------------------------|---------------------------------------------------|
| 10～20mm | ザーザー降る。                 | 長く続くときは注意が必要。                                     |
| 20～30mm | どしゃ降り。                  | 側溝や下水、小さな川があふれ、小規模ながけ崩れが始まる。                      |
| 30～50mm | バケツをひっくり返したように降る。       | 山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。 |
| 50～80mm | 滝のように降る。                | 都市部では地下室や地下街に濁水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。  |
| 80mm以上  | 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。 | 雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。                    |

こんな前ぶれ現象に注意！



雨が強くなってきたら



## 前兆現象を見たら



避難のときは



- 避難場所への避難が困難な場合には、周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど、生命を守る最低限の行動をしてください。

- ・避難場所へ避難する場合は、他の土砂災害危険箇所や浸水想定区域(浸水するおそれがある区域)を避けた避難経路を選択しましょう。
- ・溪流から直角方向に避難し、できるだけ溪流から離れましょう。
- ・携行品は限られた物だけ(非常用持出品)にしましょう。
- ・服装は軽装とし、帽子、雨合羽、防寒用具を携行しましょう。
- ・火気の始末をし、火災が発生しないようにしましょう。
- ・戸締まりをしましょう。

メッセージの再生:市外局番+171+2+自分の家の番号

市からの情報は防災行政無線や広報車でお伝えします。  
大雨時には回線が込み合う場合がありますので、前兆現象の通報以外には、  
できるだけ使用されないようにお願いします。

